

## 公共施設マネジメント基本方針と 公共施設白書を公表

公共施設マネジメントとは、公共施設の現状と課題を分析し、サービスの水準を適切に維持するため、保有する施設を最適に維持管理し、有効活用するための取り組みです。

能だと考えられます。

### ○基本的な考え方

今後は「施設の整備」から「機能の提供」へ発想を転換します。市民ニーズや地域特性を的確に捉えた必要なサービスが維持できるよう、施設の統廃合、多機能化を検討し、公共施設再編計画（案）、中期保全計画（案）をまとめます。

### 基本方針と公共施設白書の 主な内容

#### ○公共施設を取り巻く現状と課題

本市では、574施設を保有し、総延床面積は約48・7万平方メートルになります。大規模改修が必要とされる築31年以上経過している施設がそのうち32・1%です。

保有する公共施設を全て維持し、一定のサイクルで建て替えなどを行った場合、今後40年間で1856億円（年平均46億円）が必要になります。

しかし、例えば平成33年には、投資的事業（道路や施設の整備、改修）費の見込額は約25・7億円しかなく、全ての施設を維持することは不可



### 基本方針と白書の公表場所

- ・ 財政課
- ・ 各振興局地域振興課
- ・ 図書館本館・各分館
- ・ 各地区公民館

《問合せ》 財政課経営管理係

☎ 21-9014